

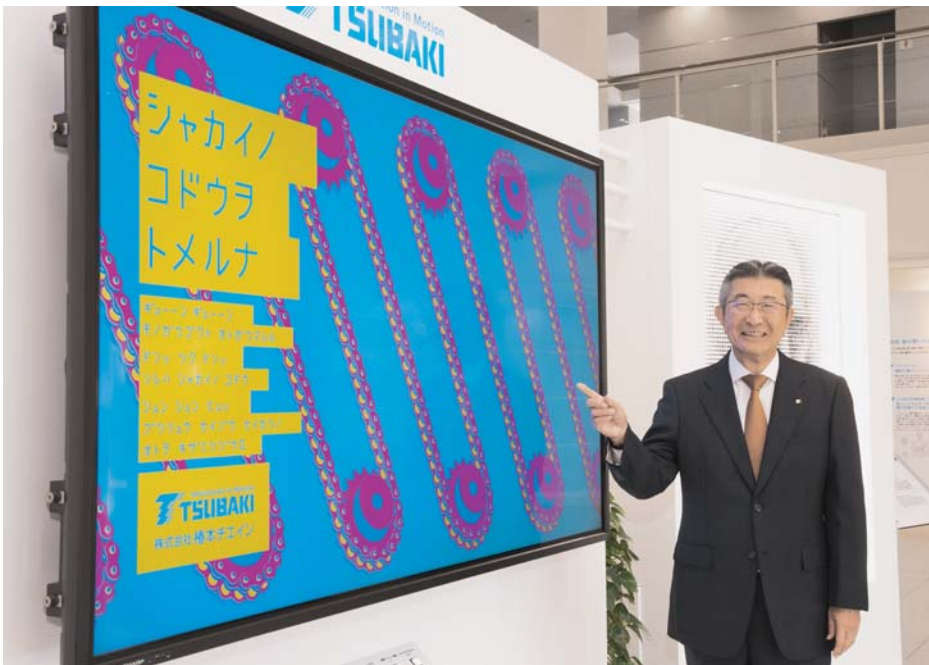


東北電力会長・東北経済連合会会長

海輪 誠氏

東北地域は3月で東日本大震災後10年の節目を迎える。真の復興・地方創生に向かう記念すべき年になってほしい。また東北電力にとっては70周年を迎える年でもある。その先の100周年を見据え、今後も地域とともに発展する会社になるための礎を築いていく。プライベートでは、長らく中断していた油絵を再開したい。体力維持にも一段と励む。（昭和24年生まれ）

橋本チエイン会長 長 勇氏



新常態を悲観するのではなく、変わっていくチャンスにできれば。自社製品を通じてもっと社会貢献するべく、次の中期経営計画で具体化する。経営ではスリムで強靱（きょうじん）で素早い牛を目指す。休日は城巡りに凝っている。昔この場所でどんな営みがあったのか、一人で思いをはせる。近畿や四国を中心に50カ所は巡った。城巡りで はゆっくりな牛でいたい。（昭和24年生まれ）



今年は厳しい状況から抜け出して、希望を持てる道筋を示したい。干支の牛のように、一步一步強く歩みを進めて、地道に困難を克服する。私自身、気分転換が得意ではなく、散歩していると、ついつい嫌なことを思い出してしまう。自分がやってみたことがない、非日常、の体験を味わって気持ちを切り替えていきたい。（昭和36年生まれ）

ローム社長 松本 功氏



2021年度は策定中の中期経営計画の実行元年。売り上げは社会への貢献総量で、飛躍的に伸ばす事業計画はほぼ出来上がった。すでに営業、商品、モノづくりの三つで改革を進めており、今年実を結ぶ。動けるようになれば欧米の顧客を訪ね、生の声を聞きたい。個人的にはビジネス書だけでなく、好きな歴史本にふれあう時間も作るつもりだ。（昭和36年生まれ）

アマダ社長 磯部 任氏



2021年は、従来取り組んできた改革をさらに加速させる年となる。キーワードの一つがブランド力の再強化だ。コロナ禍でニーズの多様化・複雑化などが進む中、アフターコロナでは企業へのブランドや信頼性の重みがより増してくる。当社として、地域・社会貢献を含めた活動を通じて企業価値とブランド力を高めていく。（昭和36年生まれ）



伊藤忠商事
会長CEO
岡藤 正広氏

これまでデジタル化をはじめ、マーケットインの発想で事業強化に向けた布石を打ってきた。昨年6月に時価総額で総合商社首位となったが、平時においてもトップになれるように意識したい。刺激がなければ人はマンネリ化してしまう。常に変化を意識させることが大事だ。そのためにも進化していくきっかけとなる制度作りも進めていきたい。（昭和24年生まれ）

50年明けからモオ～ダッシュ!! 年生まれの経営者

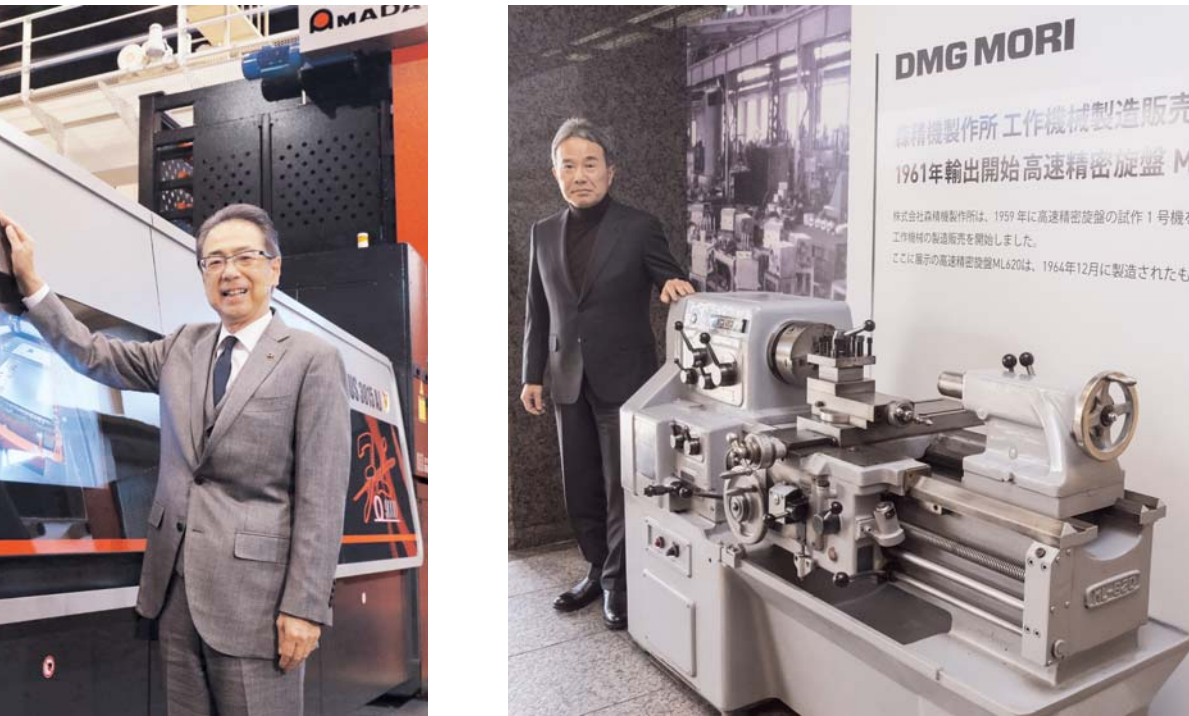


2021年度は中期経営計画の中間年。新型コロナウイルス感染症とうまく付き合いながら、中計の達成を目指す。30年、50年を見据えて策定した「サステナビリティ・ビジョン」も推進していく。体力づくりでは、ストレッチや腕立て伏せ、腹筋を続けている。食べ物にも気を付けて、健康維持に努めたい。（昭和24年生まれ）



2020年は新型コロナウイルス感染症という大きな試練に直面した一方で、販売現場のデジタル化や資産運用力の強化など将来を見据えた変革も同時に加速できた。21年は3カ年の中期経営計画がスタートする。7万人の全職員が果敢かつ積極的に構造課題の変革に挑戦し、コロナ前を超えられる会社への一歩を踏み出した。（昭和36年生まれ）

DMG森精機社長 森 雅彦氏



2021年は、フルモデルチェンジする製品を市場に投入する重要な年となる。デジタルツインによるテスト加工も活用し、しっかり売っていく。また会社の次の成長に向け、総合的品質管理（TQM）の考え方や回し方を社内に根付かせたい。個人的には、ヨットへの乗船日数を例年と同程度キープすることと現在の体形維持が目標だ。（昭和36年生まれ）



九州電力会長
瓜生 道明氏

2021年は課題解決に向けた人材投資の年だ。デジタル変革（DX）は目的ではなく、イノベーションを起こすツール。活用するためには人材育成が必要となる。コロナ禍もいつか終焉（しゅうえん）する。浮き彫りになった課題の対処を、その時までには組み立てなければならぬ。ピンチをチャンスとするため、これが今年の本当の仕事になる。（昭和24年生まれ）



2021年は当社にとって創業100周年であり、中期経営計画の最終年度でもある。コロナ禍で働き方やコミュニケーションは大きく変化した。3密回避を実現する自動化・自律化、遠隔操作化は加速するだろう。電動化等の環境取り組みや林業等の循環事業など注力方向は変わらない。中計最終年度に次の道筋を示し、新たな100年につなげたい。（昭和36年生まれ）

中部電力社長 林 欣吾氏



社長就任1年目の2020年はコロナ色だったので2年目の21年は挑戦の年としてカラーを出したい。経済再生へ大事な年になる。産業構造や生活パターンの変化、脱炭素への動きはビジネスチャンス。ビジネスポートフォリオを最適化して新たな具体的な取り組みを加速する。プライベートでは中身は未定だが、新しいことに挑戦したい。（昭和36年生まれ）